

福祉医療費助成にかかるオンライン申請システム利用規約

(目的および定義)

第1条

本規約は、福井県国民健康保険団体連合会（以下「国保連合会」という。）が運営する福祉医療費助成にかかるオンライン申請システム（以下「本システム」という。）を利用する場合に必要な事項を定めるものです。

2 本規約において使用する用語の意義は、次の各号に定めるとおりとします。

- 一 本システムとは、福井県内に所在地のある保険医療機関等と国保連合会をインターネット回線で結び、福祉医療費助成にかかる申請データ（以下「申請データ」という。）の情報をオンラインで受け渡す仕組みを指します。
- 二 「システム利用者」とは、国保連合会が本システムの利用を許可した保険医療機関等を指します。

(適用)

第2条

本規約は、全てのシステム利用者に適用されるものとします。

2 本規約の実施のために制定される細則、その他付随して作成された本システム利用上の決まりは、本規約の一部を構成するものとして、前項のシステム利用者に適用されるものとします。

(規約の順守)

第3条

システム利用者は、本システムの利用に際し、事前に本規約を熟読の上、本規約に同意して本システムを利用するものとします。

2 本システムを利用する場合は、本規約を順守する必要があります。

(システムの利用開始)

第4条

システム利用者は本システムの利用にあたり国保連合会が発行する ID およびパスワードが必要となります。

2 IDおよびパスワードの発行については、国保連合会の定める方法により行います。

(運用制限)

第5条

国保連合会は、本システムの維持、補修の必要があるとき、天災その他の事由によ

りシステムに障害または遅延の生じたとき、その他理由の如何を問わず、その裁量によりシステム利用者への予告を行うことなく、本システム運用の停止、休止若しくは中断または本システムの利用制限を行うことがあります。

- 2 前項により、システム利用者が期日までに申請データを送信できない場合は、電子媒体による申請またはシステム復旧後のオンラインによる請求を受け付けます。

(情報到達の責任分界点)

第6条

システム利用者から国保連合会への情報の到達は、本システムに備えたファイルへ記録された時点をもって責任を果たしたものととなります。

- 2 国保連合会からシステム利用者への情報の到達は、システム利用者が備えた記録装置若しくは電子媒体等へ記録された時点をもって責任を果たしたものととなります。

(情報経路の責任分界点)

第7条

国保連合会の責任の範囲は、システム利用者の回線と国保連合会が準備した回線の接続地点から国保連合会までの範囲をいい、責任範囲で障害が起こった際の対処および情報の管理について責任を負うものとします。

- 2 システム利用者の責任の範囲は、システム利用者の回線と国保連合会が準備した回線の接続地点からシステム利用者までの範囲をいい、責任の範囲で障害が起こった際の対処および情報の管理について責任を負うものとします。

(システム利用者の責任)

第8条

システム利用者は、次の各号に掲げる事項に留意して利用することとします。

- 一 本システムの定期的または臨時的な停止、利用制限、その他通信回線の障害等により予告の有無を問わず本システムが利用できなくなる場合があること
- 二 本システムが不正に利用されることが無いよう、ID およびパスワード、その他本システムを利用するために必要な全ての機器を適切に管理すること

(禁止事項)

第9条

システム利用者は、次の各号に掲げる行為を行うことはできません。

- 一 本システムを申請データの送信に関する目的以外の用途に使用すること
- 二 本システムに対し不正アクセスを行うこと
- 三 本システムの管理および運用を妨害すること

- 四 本システムに対し、ウィルスに感染したファイルを送信すること
- 五 第4条第1項に掲げる ID およびパスワードを第三者に使用させること並びに第三者への貸与、譲渡、売買および担保の目的に供すること

(システム利用の拒否)

第10条

国保連合会は、前条に定める行為、または本システムの運用に支障をきたす若しくは支障をきたす恐れがある行為を行ったシステム利用者に対して、その判断により本システムの利用を拒否することがあります。

(免責事項)

第11条

国保連合会は、次に掲げる事項により生ずるシステム利用者の損害については、その責を負いません。

- 一 国保連合会の責によらず、第4条第1項に規定する ID およびパスワード、その他システム利用者に関する情報が漏えい、または盗用されたことによって生じた損害
- 二 第5条第1項に掲げる運用制限により生じた損害

(変更)

第12条

国保連合会は、必要があると認めたときは、その裁量によりシステム利用者に対する事前の通知を行うことなく、いつでも本規約に規定する条項の変更または新たな条項の追加をすることがあります。

なお、本規約を変更した場合は、変更後の規約を国保連合会ホームページに掲載することとします。

- 2 前項により本規約を規定する条項を変更した後にシステム利用者が本システムの利用を継続したときは、システム利用者は、変更または追加後の条項に同意したものとみなされます。

(システムの利用時間)

第13条

システム利用者は、第5条第1項に規定する本システムの運用の停止、休止または中断の時間を除き、本システムを利用して申請データを送信することができます。本システムの利用時間および利用日程については、別途定めるとおりとします。

(知的財産権)

第14条

国保連合会が、システム利用者に提供する一切の著作物（本規約および本システムの操作手順書を含む。以下同じ。）に関する著作権および著作者人格権並びにそれに含まれるノウハウ等の知的財産権は国保連合会に帰属します。

- 2 システム利用者は、本システムの利用に際し、国保連合会がシステム利用者に提供する一切のプログラムまたはその著作物を次の各号のとおり扱うものとします。
 - 一 この規約に従って本システムを利用するためにのみ使用すること
 - 二 複製、改変、編集、頒布を行わず、また、リバースエンジニアリングを行わないこと
 - 三 営利目的の有無に関わらず、第三者に貸与・譲渡しまたは担保の目的に供しないこと

(準拠法および管轄)

第15条

本規約には日本国法が適用されるものとします。

- 2 本規約に関する訴訟は、国保連合会の所在地を管轄する地方裁判所をもって、第一審の専属管轄裁判所とします。

福祉医療費助成オンライン申請システムの利用時間および日程

1. 申請データの受付可能時間

- ・ 1 日～1 3 日 8：0 0～2 4：0 0

2. 申請データの訂正可能時間

- ・ 1 日～1 3 日 8：0 0～2 4：0 0

※訂正する場合は全件差替えした申請データを再送信すること（差分の提出は認めない）。

※訂正等により同一医療機関から複数回の申請データを受領した場合は、最終送信日時のファイルを正とする。

3. 確認試験および導通試験

- ・ 2 0 日～月末 8：0 0～1 8：0 0

※いずれの日程も休日（土曜、日曜および祝日）含む